

U

みんなが使いやすい 店舗にするために

ユニバーサルデザインのお店づくり

最近、駅や建物に、エレベーターが設置され、街の段差も小さくなるなど、街が使いやすくなつたと感じることはありますか？これは駅や大きな建物、道路などでのバリアフリー※が法律や条例で義務づけられたことが大きな要因です。今後ますます高齢者や障害のある人が街に出やすくなり、買物なども楽しめるようになります。しかし、受け入れる商店は高齢者や障害のある人に使いやすく、また快適な店舗になつてゐるでしょうか。

今回は、高齢者や障害のある人など、誰もが使いやすい商店街や店舗をつくるためにはどうしたらよいか考えてみたいと思います。



街にはいろいろなユーザーがいる

※
バリアフリー
高齢者や障害者などの移動や利用の妨げになつている要因をなくすこと

横浜市商連機関紙(年4回発行)

よこはま 市商連

No.166 2013年(平成25年)
2月号

発行 社団法人 横浜市商店街総連合会

発行人 矢野誠一

〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7 横浜市技能文化会館5F

tel.045-662-0874 fax.045-662-5888

e-mail kato@yokohama-syoutengai.com

制作 場所づくり研究(有)ブレイス

<http://www.yokohama-syoutengai.com/>



にぎわう
横浜中華街
市場通り会

これまででは多数の人だけ
見ていた

これまで街やお店は、健常者を主な対象としてつくれられてきました。しかし、それでは使いにくい人がたくさんいます。高齢者はもちろんですが、目が自由な人、耳が不自由な人、車いすを使っている人、赤ちゃんや子ども連れの人など、不便を感じている人がいるのにもかかわらず、これまであまり配慮されてこなかつたという現実があります。

ユニバーサルデザインの考え方

街にはいろいろな人が暮らし、活動しています。「人でも多くの人にとって、使いやすく、また快適な街や店舗あるいは製品をつくるという考え方を「ユニバーサルデザイン」といいます。ユニバーサルには「普遍的な」という意味があります。つまり、年齢、性別、国籍、能力にかかわらず、できるだけ多くの人にとって使いやすい生活環境をつくるという考え方です。

高齢者

若い人にくらべてゆっくりとした動作になります。長時間の買い物で疲れれる、ちょっとした段差でつまずきやすい、小さい文字が読みにくい、新しい機械やシステムを使うのが難しい、といった問題があります。

実は、高齢者や障害者など、不便を感じている人の目線でお店をつくることは、誰にとっても使いやすい店づくりにつながります。

みんなに使いやすい
お店とは

ユニバーサルデザインのお店をつくるためには、多様なお客様の特徴や、それぞれ人が買い物をする時に、どんなことに不便を感じているかを知らなければなりません。

ごく一部の例ですが、いくつかの特徴を挙げてみます。

本号の
主な内容

1~3:[特集]みんなが使いやすい店舗にするために~ユニバーサルデザインのお店づくり~ 4:[商店街元気人物列伝]外丸和男会長/中区・横浜中華街市場通り会 5:[こんなお店がほしかった!]御菓子司 大倉山青柳/港北区・大倉山商店街振興組合 6:[がんばれ!横浜F・マリノス]第3回富澤清太郎選手にインタビュー 7:[フロム市商連]「ガチ井!」エントリー受付中 ハートフルコンサートお知らせほか[フロム市役所]EVパートナー募集ほか 8:[ニュース]賀詞交換会 優良從業表彰 「ガチあま!」出店

車いすを使用している人

お店の入口に段差があると入れない、狭い入口や通路は通れない、固定式の椅子は使えない、目線が低くなるので高いところの商品が見えない、といった問題があります。

目の不自由な人

全く見えない人、少しだら光を感じる人、視野が狭い人、大きな文字しか読めない人など、視覚障害といつもさまざまです。白杖を持っている人も

います。点字を読める人は視覚障害者の中でもごく少数(10%程度)と言

われています。目の不自由な人は、店の入口がわからない、商品やメニューが選べないといった問題があります。また、歩道の自転車や看板などはとても危険です。



目の不自由な人も買い物を楽しむように

とがわからないので、話しかけたのに無視をされたと誤解されたり、不利益を被つたりすることが多いです。

赤ちゃんや子ども連れの人

ベビーカーを押していると、少し広めのスペースが必要です。荷物が多いので、ちょっと物を置けるスペースがあると助かります。子どもが他のお客様の迷惑にならないか、いつも気にしています。

ちょっとした心がけと工夫で店づくりを

こうした問題のひとつひとつに対応し、本当に誰もが使いやすいお店にしていくのはとても大変だと感じられるかもしれません。

もちろん、完璧なものをつくるのは大変ですが、ちょっとした心がけと工夫で、使いやすく、またおもてなしの心を伝えることは可能です。

そのポイントをいくつかあげていきたいと思います。

1 道路上に商品や看板を置かない

あたりまえのことですが、店前に商品や看板を置かないようにしましょう。高齢者、車いす使用者や目の不自由な人はもちろん、誰にとってもじやまで危険です。歩道の視覚障害者誘導用ブロック(黄色のラインで点字ブロックとも呼ばれます)の上に物や自転車が置いてあると視覚障害者にとって大変危険で、大きなケガにつながることもあります。



スロープで小さな段差を解消



路上の看板は危険

クとも呼ばれます)の上に物や自転車が置いてあると視覚障害者にとって大変危険で、大きなケガにつながることもあります。

入口に電話番号を書いておくと、手助けが必要なお客さまが携帯電話でお店に伝えることができます。

3 通路の幅を広げる

商売上、できるだけたくさんの商品を置いたり、たくさん席数を確保したりしたいかも知れませんが、車いすやベビーカーの利用者には使いにくくなってしまいます。通路幅は90cm確保できると動きやすくなります。

2 入口は広く、段差をつくらない

お客さまを迎える入口はできるだけ広くしておきましょう。小さな段差は簡易スロープなどで入りやすくすることができます。足ふきマットも高齢者がつまずくことが増えてるので、めくれないようにしましよう。埋め込み型のものにすると安全です。やむを得ず段差が残る場所では、段のところに色をつけるなど目立つようにするといいです。



ちょっとした心遣いがうれしい

5 車いすでも使えるテーブル
飲食店のイスは固定式ではなく、移動できるようにすることで車いすのまま利用することができます。すべてのイスは無理でも、いくつか用意することで利用が可能となります。

3 通路の幅を広げる
商売上、できるだけたくさんの商品を置いたり、たくさん席数を確保したりしたいかも知れませんが、車いすやベビーカーの利用者には使いにくくなってしまいます。通路幅は90cm確保できると動きやすくなります。

4 車いすでも使えるテーブル

飲食店のイスは固定式ではなく、移動できるようにすることで車いすのまま利用することができます。すべてのイスは無理でも、いくつか用意することで利用が可能となります。

4 車いすでも使えるテーブル
飲食店のイスは固定式ではなく、移動できるようにすることで車いすのまま利用することができます。すべてのイスは無理でも、いくつか用意することで利用が可能となります。

5 ベンチや物置き台を用意する

場所があれば、ちょっと座って休めるベンチがあると高齢者は助かります。レジの前などに物置き台をつけると、会計の時などに便利です。

6 わかりやすい表示やメニュー

価格表示やお知らせは、大きな文字でわかりやすく書きます。色の組み合わせによって読みにくくものになることがあります。白黒コピーをして読めるようなら大丈夫です。メニューに写真を載せると注文しやすくなります。

良い例 ○	悪い例 ×
読みやすい青と黄	読みにくい赤と黒
読みやすい黒と白	読みにくい赤と緑
読みやすい黄と黒	読みにくい赤と緑

「カラー／パリアフリー 色使いのガイドライン」(平成20年10月神奈川県発行)を参考に、一括調査

- 8 子ども連れでも安心できるコーナーのあるお店は、あるお店はその店の特



子ども連れでも安心して利用できるスペース

- 7 使いやすいトイレ
可能な場合はできるだけ広いトイレを確保します。街の中で車いす使用者や子ども連れの人が使いやすいトイレを探すのは大変です。トイレがあることで安心してお店に来ていたらこうができます。そういうお店を選んで来店する方も増えています。

- 8 子ども連れでも安心できる「一ナーナー」を

- 9 文字情報で伝える
手元にメモ帳や筆記用具を用意しておこと、耳が不自由なお客さまとの筆談に役立ちます。タイムセールなどを放送するときは、耳の不自由な方のことも考えて、見てわかるチラシや掲示板などもあわせて表示しましょう。



- 11 言葉で伝える

- 10 お札、小銭、レシートは別々に渡す
高齢者などは手先が動きにくい場合があります。お札、小銭、レシートは別々にお渡しすると受け取りやすくなります。

- 11 身近な商店街だからこそ
できることが

近年、大規模なスーパーマーケットでは、こうしたユニバーサルデザインによる店づくりに積極的に取り組み始めているところもあります。街の小規模な店舗ではとてもそんなことはできないと思うかも知れません。しかし、実は高齢者にとってはコミュニケーションを取れる身近な商店街の方が使いやすいという声も多いのです。

- 12 お客様の特徴を理解した接客を一番大切なのは、お客様の立場に立った接客です。思い込みや偏見を持たずに、どのようなことを望んでいるのかを積極的に聞いてみましょう。聞くのを遠慮して、間違った対応をしたり、お客様本人ではなく介助者とばかり話したりするのは失礼になることがあります。

徵にもなります。「あそこのお店は子どもを連れていても安心だ」というお母さん同士の口コミ情報が、新しいお客様を呼び込むきっかけになることがあります。

ているのかわからないので、正面から声かけしましよう。商品の値段、特徴などを説明するときは具体的に、また可能であれば直接手にとつてもらうことも大切です。店内に表示しているサービス品やお買い得情報なども伝えましょう。

きっと高齢者や障害者だけではなく、多くのお客様に使いやすく、また優しいお店になるはずです。

なお、ここで載せた情報は、あくまでも一部にすぎません。ホームページなどでいろいろな情報が得られますので、ぜひ参考にしてください。

- 既存建築物のパリアフリー化整備事例集(ガイドライン) 神奈川県
<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/42139.pdf>
- 神奈川県カラーパリアフリー色使いガイドライン
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6880/p22186.html#e>
- みんながまた来たくなるお店づくり 東京都
<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2009/10/DATA/20jau400.pdf>
- みんなが嬉しくなるお店 UDサービスポケットブック 世田谷区
<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/125/398/d00033874.html>

商店街 元気人物 列伝



中区・横浜中華街市場通り会 会長

そとまる かずお
外丸 和男さん (58)

外丸織維工業(株)中華街店 店長。

横浜で織維業を営む父親の関係でユニフォームなどの販売を始めて30年。時代の流れの中で物販が減り飲食が増えた商店街で新しい視点による活性化に取り組む。

かつては中華街の
「市場」だった

「横浜中華街市場通り」は中華街のほぼ中央にあり、かつては生鮮品や食器、ユニフォームなどをそろえ、料理人が朝、買物に来る、まさに中華街にある「市場」でした。

時代の流れの中で、物販店が減り、現在は商店街34店舗のうち22店が飲食店になっています。

「街コン」に取り組む

横浜中華街は年間1800万人の観光客が訪れると言われる一大観光地。外丸さんは、その中でどうしたら市場通りにお客さんが集まるか、ということをいつも考えていました。

そのため、取り組んだのが「街コン」です。

街コンとは、最近若者の間で流行っている、街にある飲食店を使った男女出会いの場を提供するイベントのこと。

午後2時から5時までというお店としては比較的お客様が少ない時間帯を活用し、会費を払った男女が参加店（前回は8店舗）で自由に飲食をしながら、会話を楽しめます。今回、市場通りでは飲食店だけではなく物販店やサービス業などの店舗で買い物しても値引きするなど、参加メリットの幅を拡げました。

会員に協力意識をもつてもらうことが大切

人が集まる市場通りにするためには、会員に協力意識を持つてもらうことが

中華街に来るお客さんを通じて呼び込みたい

さらに、外丸さんは中華街に来るお客様を市場通りに呼び込むため、商店会長になった時最初に取り組んだのが、市場通り中央の看板の設置でした。来訪者にわかりやすく街の情報を提示しました。

また、今後の希望としては、通りの入口に、お店の屋号だけではなく、その店のおすすめ料理などの情報も載せることのできる掲示板を設置したいそうです。現在は商店会独自のホームページを作成中ですが、「商店会情報をただ掲載するのではなく、高齢者などが情報を得やすくなることが必要です」と、外丸さんは語ります。

では効果は限定的ですが、何よりも商店街としてひとつことに取り組むことが大切、というのが外丸さんの考え方です。

商店会長になった時には、商店会に加入していないお店もありました。まず、そのお店に仲間になつてもらうことが必要と考え、未加入店を何度も回り説得し、現在は全店舗商店会に加入してもらっています。



中華街の中央に位置する
「市場通り」

将来はテーマパークのように滞留時間の長い街に

外丸さんに、将来どんな商店街にしたいか尋ねました。「中華街はどうしても食事が中心なので、食事をしてしまえばそれで終わり。滞在時間が短いことが課題です。将来は中華街全体と協力して来て訪者が中国文化を楽しめるテーマパークのような街にしたい」と語ってくれました。



中華街といふ、ともすれば個々の店舗や小さな通りが埋没してしまうほど大きな力をもつた街の中で、キラリと光る通りを目指していくところでのこの通りの戦略が、今後どんな成果を見せていくのか、期待して注目したいですね。

横浜中華街市場通りの位置

市場通りのお店マップ

こんなお店が
ほしかった！



港北区・大倉山商店街振興組合

御菓子司 大倉山青柳

今回は、手作りの心を大切に、伝統の味を守りながらも新しい味を追求する「御菓子司大倉山青柳」にうかがいました。梅林で有名な大倉山は、かつて自然豊かな野中の地だったそう。開業したての頃は新横浜駅まで見渡せた駅前も、今は約200店舗が軒を連ねる商店街で賑わっています。

祖父、父、息子三代で築いた
手作りの味

横浜のれん会に名前を連ねる大倉山青柳は、戦前、先代が山梨から川崎に来て製餡工場を始め、戦災を経て、昭和26年に当地で和菓子屋を創業したのが始まりです。明治神宮献上銘菓の店であり、現代代表の田辺太一さん（二代目）とその

息子で長男の義



明さん（三代目）、次男の亮二さん（工場長）を中心、約20人の従業員で手作りの味を守り、また新しい和菓子づくりに日々挑戦しています。

新しい味にも挑戦

三代目の義明さんは、伝統の味を守りつつも、常に新しい菓子づくりに挑戦しています。和歌山有田早生みかんをまるごと使った「みかん大福」（季節限定）は昨年の大ヒット作。材料を考え、選び、それにあわせた餡の味、練り方など、一年以上も研究しつくした自慢の品です。

そのほか、冷蔵庫に入れて固くならない和菓子や、地元横浜の「よこはま醤油」を使った和菓子、クリスマスにあわせた和菓子のセットなど、多様なニーズにあわせた商品をつくっています。

情報発信に積極的に取り組む

地域を大切に大倉山の
文化の発信にも取り組みたい

添加物を使わない、味が自慢の和菓子ですが、その良さをお客さまに伝え、買っていただきさまざまな工夫をするのも義明さんの大切な仕事です。

自ら、インターネットを活用した情報発信や、パソコンを使ってのパンフレット作成もしています。

営業も大切だが一番はお店が基本

また義明さんは、学校や行政、企業、冠婚葬祭など、多様な販路を開拓する営業マンでもあります。「営業はお菓子の説明ができないことはなりません。伝える気持ちが大切です」と語ります。

「しかし、やはりお店が基本です。お店の運営がしっかりとしないと良い営業もできません。清潔感、季節感があり、笑顔で気持ちよく、いらっしゃいませと言える、あたり前のことの大切にしています」とも語ります。

更に、「これから高齢化が進む中、ただ店を開け待つているだけではなく、宅配にも積極的に取り組みたい」とのことです。すでに三輪バイクを使って配達も始めています。



御菓子司 大倉山青柳の位置



熱く語る三代目義明さん

最後に商店街についてお聞きしました。「最近は商店街に個人のお店が減り、チェーン店が増えています。商店街活動に協力してくれる人が減り、元気がなくなっていることが心配です。これからは文化の発信の地として大倉山の地を売り出していくたいです」と義明さん。

伝統を守りつつ、常に新しい味や取り組みにチャレンジし、地域を大切にする。熱く語る言葉を聞きながら、これがこれからの中店にとって一番大切なスピリッツだとあらためて実感しました。



がんばれ!

横浜F・マリノス

富澤清太郎
選手に
インタビュー

第3回

選手に
インタビュー

本企画3回目の今回は、子どもの頃から
港北区・南日吉商店会を遊び場として育
ち、今でも商店街とは親交が深い、富澤
清太郎選手にインタビューしました。

(★聞き手・市商連)

★こんにちは、今日はよろしくお願ひし
ます。

富澤 こんにちは、こちらこそよろし
くお願ひします。

★早速ですが、富澤選手というと、日吉
が地元、小さい頃から商店街が大好き
と聞いています。

富澤 はい、実家が南日吉商店会のす
ぐそばで、子どものころから商店街に
はいつも遊びに行つてました。現在も日
吉に住んでいて、何か日吉からは離れ
られないですね(笑)。

小さい頃は母親にくついて八百屋
さんとかに買い物に行って、友だちを
見つけて遊んで、商店のおじさんやお
ばさんに優しく声をかけてもらったり、
おまけしてもらったり。子どもも大人
もたくさん集まって来る温かいところ、
楽しくておもしろい思い出がたくさん
あります。

★今でもなじみの店つてありますか。

富澤 ありますよ。先ほど言つた八百
屋さんもそうですし、駅の近くに先輩
がやつて いるお店もあって、そこにもよ
く行きますね。

でも最近、お店の入れ替りが増えて、
お店の数も人通りも減ったような…。
寂しいですね。

★そうですか、じゃあ商店街に行くと声をかけられるんじゃないですか。

富澤 しょ(ちゅう)です(笑)。「清太郎」とか「清ちゃん」って呼ばれています商店街にいると小さい頃の感覚のままなので、F・マリノスの選手として気を遣つてくれたりすると、「あれ?」って違和感があります(笑)。

昨年、地元の盆踊りイベントに飛び入り参加した時、選手としてちゃんと

でも、最近はそういう風景見ないですね。僕らの世代は、買い物で「ミニマーケーション」をどうで、人と人がふれあい、そこに会話が当たり前にありました。思わず人がたくさん寄つて来る、よかつたですよね、そういう感じ。

和感があります(笑)。
昨年、地元の盆踊りイベントに飛び入り参加した時、選手としてちゃんと挨拶することになつて、キヤー・キヤー言われたりして、ものすごく恥ずかしかつたですよ。だって目の前に地元の友達だとか、知り合いのおばちゃんとかがいたりして、かしこまつた挨拶なんてできませんでした(笑)。でも、温かい地元の愛情ある応援はとても有り難くて、その人たちのために「絶対勝ちたい!」といつも思つています。

★ここで突然なんですが、大好きな南日

吉商店会で、もし自分が商人になつてお店を出すとしたら何屋さんがいいですか？

富澤　はい、焼き鳥屋さんです！（きつぱり笑顔で即答）。

煙のあの感じ、忘れられないんですね。小さい頃、母親によく買ってもらいました。たしか1本50円くらいで、特に鳥力

「が大好きでしたね。中学の頃は、お小遣いでコロッケとか、唐揚げはグラム單位で買つてました。並んでお腹すいたら

位で買つて置いてある。お腹が空いていたので、商店街の肉屋に行くことにハマつてしまつた(笑)。

でも、最近はそういう風景見ないですね。僕らの世代は、買い物で「ミニューケーション」をどうて、人と人がふれあい、そこに会話が当たり前にありました。思わず人がたくさん寄つて来る、よかつたですよね、そういう感じ。
★さすがに商店街で育つと説得力がありますね(笑)。

富澤 毎日いたところですからね(笑)
★我々も商店街は子どもたちがたくさん集まって来ることでほしいなと思っています。

富澤 子どもたちは商店街で自然にたくさんのこと学べると思うんです。商店街でよそのおじさんやおばさんが子どもを普通に叱る、そんな中で育ちました。同じ年くらいの子が集まって遊んだりもする。僕自身、商店街に育ててもらつたと感謝しているひとりなんです。

僕は地元や商店街が大好きです。いろんな職業を経験して、最終的に地元に戻る人も少なくないですよね。やはり、地元の「コロッケ」が忘れられないみたいな感覚つて誰にでもありますよね。★お話を聞いて、まだまだ商店街の役割はあると確信しました。ありがとうございます。話は変わりますが、昨年の「ガチあま！」に続き、今度は丼もののN.O.-1決戦戦「ガチ丼！」を開催するのですが、富澤選手が好きな丼ものつて何ですか。

富澤 子どもたちは商店街で自然にたくさんのこと学べると思うんです。商店街でよそのおじさんやおばさんが子どもを普通に叱る、そんな中で育ちました。同じ年くらいの子が集まつて遊んだりもする。僕自身、商店街に育ててもらつたと感謝しているひとりなんです。

僕は地元や商店街が大好きです。いろんな職業を経験して、最終的に地元に戻る人も少なくないですよね。やっぱり、地元の「ロツケが忘れられないみたいな感覚って誰にでもありますよね。」お話を聞いて、まだまだ商店街の役割はいろいろと強調します。ありがとうございます。

「ガチあま！」に続き、今度は丼もののN.O.-i決定戦「ガチ丼！」を開催するのですが、富澤選手が好きな丼ものって何ですか。

富澤 摂生しているんで大好きな揚げ物はやめているんですが、最近はすつか



富澤

1982年生まれ 神奈川県横浜市出身
読売日本SCユースS、読売日本SCJrユース、ヴェルディユースを経て、東京ヴェルディ1969でプロデビュー。期限付き移籍でベガルタ仙台でもプレーをし、2012年より横浜F・マリノスに移籍。主にボランチとして活躍。背番号27番。

Jリーグディビジョン1(日産スタジアム)	Jリーグヤマザキナビスコカップ 予選リーグ
第1節 3/2(土) 14:00 vs湘南ベルマーレ	第1節 3/20(水・祝) 17:00
第3節 3/16(土) 14:00 vs ジュビロ磐田	vs 川崎(ニッパツ三沢球技場)
第4節 3/23(土) 14:00 vs 横浜F・マリノス	

横浜F・マリノス
2013シーズン
カードゲート日程

ニュース NEWS

トリコロールカラーの特製「豆大福」



「新年賀詞交換会」開催

市商連では、1月10日(木)12時から「平成25年新年賀詞交換会」を西区の横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズで開催しました。



林文子横浜市長をはじめ、ご来賓や会員合わせて108名が出席。主催者を代表して岡野誠一會長から、これから商店街活性化にむけて会員一丸となって取り組もうという挨拶があり、林市長からは「地域に寄りそう商店街」に今後も市として支援したいという力強いエールをいただきました。鏡開き、乾杯、祝宴と続き、新春の和やかな交流の場となりました。

林文子横浜市長からの祝辞

編集後記

- ▶昨年まで閉塞感が続いたが、今年は明るい年になるのでしょうか。いずれにしても商店街は地域に根付いて地道にねばり強く活動していきたいですね。(F)
- ▶商店街でのお買い物、子どもの頃も、大人になっても楽しいものです。富澤選手のお話に共感です。さあ、次はガチアリワクワクしますね。(N)

私たち横浜市3読売会は、横浜市商店街総連合会と地域活性化を目的とした協力協定を締結いたしました。
誠にありがとうございました。

<http://www.facebook.com/yysupport>

読売センターと結ぶ「絆」…Your best partner
あなたの1部が横浜市の力になります

「Y²サポートプロジェクト」は、読売新聞の購読料の中から運営費用を出し、教育、福祉、環境などの分野に対して支援をさせていただいております。

横浜F・マリノストリコロールフェスタに「ガチあま!」出店

1月26日(土)、西区にあるマリノスタウンで「NISSAN presents 2013 横浜F・マリノス トリコロールフェスタ」に、「ガチあま!」が出店。当日は金賞受賞商品、横浜紅谷(金沢区・富岡商和会)の「豆大福」をこの日だけ特別にトリコロールカラーでつくり販売。用意した100セット(900個)はイベントが始まる13時30分前に、あっという間に売り切れてしまいました。あらためて「ガチあま!」のチカラを感じました。また、購入者には、鈴木椋太選手、喜田拓也選手のサイン券を配布、ファンとの交流を楽しみました。



トリコロールフェスタに出店

優良従業員など29名を表彰

平成24年度商店街役員・優良商業従事者表彰が2月14日、県民共済プラザビルにて行なわれました。

これは横浜市と(社)横浜市商店街総連合会(岡野誠一會長)が、商店街役員や従業員として、長く功績のあった人を表彰しているものです。今年度は4部門合わせて29名の方が表彰されています。皆様、おめでとうございます。今後とも商店街繁栄のため、積極的な商店街活動への取組みをよろしくお願ひいたします。

横浜市長表彰 区商店街連合会長部門:1名

神奈川区商店街連合会会長
就任10年 石川清貴

横浜市長表彰 商店従業員等部門:5名

西区 横浜ボルタ会
株式会社オハラ勤務 大仁田哲志
保土ヶ谷区 洪福寺松原商店街振興組合
有限会社靴のカメヤ勤務 山添由紀子
金沢区 能見台駅前商店会
株式会社まるかね電機商会 森満
青葉区 桜台商店会
有限会社ナルミノ 菅原典子
綱谷区 三ツ境商店会
有限会社石垣商店会 平早水あい

(社)横浜市商店街総連合会会長表彰
商店街役員部門:12名

鶴見区 つくの商店街協同組合監事 石諭修二
神奈川区 三ツ沢商店街振興会会長 高橋光治
西区 西口幸栄商店会会長 田邊雅春
南区 大岡通り商店街会長 大橋直次
保土ヶ谷区 西谷商店会会員 河西秀忠
旭区 菊ヶ峰商店街協同組合理事長 近藤二義
金沢区 町屋学校通り振興会会長 中井章
港北区 大曾根商店街理事 池田忠由
緑区 霧が丘商店会理事 池田潔
青葉区 青葉台商店会会長 相澤光雄

栄区 栄通り商店会理事 北村義久

瀬谷区 埼橋商店会副会長 堀田一美

(社)横浜市商店街総連合会会長表彰
商業従事者部門:11名

鶴見区 つくの商店街協同組合

株式会社VIP三晃 高橋勝己

鶴見区 つくの商店街協同組合

株式会社魚作 大橋進

桜新川区 六角橋商店街協同組合

株式会社石川屋ふとん店 木下みづ子

南区 横浜桜通商店街協同組合

有限会社安楽 石川実

旭区 白根通り商店会

株式会社長瀬書房 鹿児工場&百屋 西山哲也

金沢区 町屋学校通り振興会

有限会社魚秀商店 本田勲

港北区 高田中央商店会

居酒屋こまち 戸松笑子

緑区 霧が丘商店会

ケーキショップそら 桜井千春

青葉区 霧が丘商店会

有限会社浅野商店 浅野雄太

栄区 栄通り商店会

有限会社北村酒店 北村幸江

瀬谷区 埼橋商店会

ヘーサロンアート 白井美樹

(敬称略・順不同)



- 横浜北部読売会 North Yokohama
- 横浜東部読売会 East Yokohama
- 横浜西部読売会 West Yokohama

Y²サポートプロジェクト事務局
☎045-201-8778